

# 第5学年「家庭科」シラバス

5年生ではこんな学習をします

## 学習の目標

衣食住に関する実践的体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めると共に日常生活に必要な基礎的知識と技能を身に付け、家族の一員としての生活を工夫しようとする実践的な態度を育てます。

## 学習の方法

製作や調理などの実習や調理の実践的・体験的な学習活動を多く取り入れます。身近な生活の課題に気付き意欲をもって追究し解決のための方法を探るなどの学習を繰り返し行います。

## 学習の評価

家庭科では、次の観点で評価します。

「進んで家庭科の学習ができる。」

→ 授業への参加態度、提出物発表など。

「家庭科の学習を自分なりに工夫しようとしている。」

→ 行動観察、発表、プリント、作品など。

「生活の自立に必要な基礎的な技能が身に付いている。」

→ 作品、実習の様子、プリント、テストなど。

「衣食住などの生活に必要な基礎的知識が身に付いている。」

→ 学習プリント、テストなど。

## 年間の学習計画

	月	学習する単元	学習の内容
前期 31	4	<b>1 家庭科の学習を生活に生かそう</b>	これからの家庭科学習に見通しをもちます。 自分の生活を振り返るとともに家庭や家族の仕事への関心を高めます。 家庭生活を送る上で必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けます。 裁縫用具の安全な使い方がわかり、針や糸で簡単な縫い方をします。 自分の食事を振り返り、食生活への興味・関心を持たせます。 調理実習の進め方やポイントを理解し、「ゆでる」「いためる」の調理をします。 食品の体内での主な働きがわかり、食べることの大切さを理解させます。
	5	家庭の仕事を見つめよう できる仕事をふやそう <b>《やってみよう》</b>	
	6		
	7	工夫して仕事を続けよう <b>2 料理って楽しいね！ おいしいね！</b>	
後期 29	9	一日の食事を調べよう 簡単な調理をしよう <b>《つくってみよう》</b> なぜ食べるのか考えよう	布の種類や特徴を理解します。 ミシンの安全な使い方がわかり、直線縫いをします。 生活に役立つものを考え、製作計画を立て作ります。  自分の持ち物を見直ししたり、身の回りを快適に整えようとする気持ちを育てます。 整理・整頓や掃除の必要性を知り、気持ちよい住み方を実行します。 不用品の活用方法やごみの始末の仕方を調べて地域や環境に配慮した生活の仕方を考えます。 家族や友達との団らんを計画しふれあいを深めます。 お金を計画的に使うことの大切さを理解します。 目的に合った品物の選び方や買い方を学びます。 学習したことをもとに、家庭実践していきます。
	10	<b>3 めって！使って 楽しい生活！</b> くらしの中の布製品を探そう 作り方を調べよう <b>《やってみよう》</b>	
	11	楽しくつくってたくさん使おう <b>《つくってみよう》</b>	
	12	<b>4 工夫しよう！ かしこい生活</b>	
	1	身の回りの物を見直そう 身の回りをきれいにしよう <b>《やってみよう》</b>	
	2	不要になったものを生かそう 品物の買い方を考えよう	
3			